

平成24年9月21日

長野県知事 様
長野県総務部長

下諏訪町議会議長 濱 章 吉

私立高校への公費助成に関する県への意見書

長野県内の私立高校は、独自の建学の精神に基づき、個々の生徒の個性を育むことによって、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げています。しかしながら、私学助成の主体をなす国・県からの補助金は、生徒一人あたりの単価が減少されるなど、生徒減少期の現在、私立高校の経営は極めて厳しいものとなっています。

一昨年度より「高校無償化」政策が実施され、私学に通う生徒にも「就学支援金」が支給されました。しかし、昨今の低迷する厳しい経済状況の中で、保護者の方々の学費負担は深刻な状況が未だ続いています。多くの保護者・生徒が公立高校との学費格差をなくしてほしいと願っています。多様なカリキュラムを持つ私学は、子どもたちに大きな夢と可能性を与えてくれています。その夢を経済的理由で諦めさせることは、保護者の立場からしますと断腸の思いであります。

公教育の一翼を担う私学振興のために、下記事項について実現されるよう要望するものであります。

記

- 1 私立高校への経常費二分の一助成を堅持し、大幅な経常費補助を行うこと。
- 2 私立高校の教育条件改善のために大幅な施設、設備費の補助を行うこと。
- 3 私立高校の保護者負担を軽減するため大幅な授業料軽減補助を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。